



国際ロータリー2620地区
長泉ロータリークラブ

週報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

発行／会長：西原 重夫 幹事：杉山 弘年
例会／毎週水曜日 12:30～13:30
例会場／財米山記念館ホール
事務局：〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL・FAX: (055) 988 - 3070 E-mail: n-jimu@nagaizumi.com



<https://www.nagaizumi.com/>

第1709回 例会 2021.11.10 wed



財団法人 米山記念館外観

長泉ロータリークラブ 会長あいさつ
会長 西原 重夫 SHIGEO NISHIHARA

皆さん今日は。

10月は参議院の補欠選挙と衆議院選挙とで選挙選挙で終わってしまいました。蓋を開けたら思ったより自民党の圧勝でした。政治が良い方向に向かう為にもう少し野党の議席が伸びて欲しかったかな！と思いました。



今回の選挙で投票率が上がった事が良かったです、特に若い世代の方が投票に行く人が少し増えてきた事、又投票には行かなかったが政治に関心を持つ若い世代が出て来た事、議委員さんも若返ってきました。新しい時代がやって来たようです。

前回の例会にて各委員会より沢山の行なうべき具体的な発表が有りました。今後の予定の中に各委員会にて行事予定を落とし込みをして戴き、明るく元気に楽しいクラブ活動をして行きましょう。

今期、各委員会の予算少しですが多めにしました、活発な活動のもと是非とも使い切して下さい。

本日は待ちに待った！楽しみにしていました王さんの卓話です、皆さんにお伝えしたい事又これから学んで行く事、大学以外でも学ぶ事が沢山あります其れに対する応援をしていきますので私達に相談して下さい。王さんはこれからずっと私達長泉ロータリークラブの一員です。これからも頑張ってください。渡邊さん今後とも宜しくお願い致します。此れにて会長挨拶とさせていただきます。

出席報告(11月10日 wed)

会員総数	出席計算に 用いた会員数	出席	出席率
25名	24名	23名	95.83%

幹事報告 幹事 杉山 弘年 HIROTOSHI SUGIYAMA

- ①RIから
 - *ロータリーの友11月号が届いています。
- ②2620地区
 - (ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所) から
 - * ガバナー月信No.4・No.5が届いています。
- ③第2グループ(ガバナー、ガバナー補佐 他)から
- ④他クラブから
 - * 沼津北RC・富士山吉原RCより週報が届いています。
- ⑤長泉RC関係
 - ※11月・12月修正プログラム配布
 - * 週報(1706号・1707号・1708号)
 - * 米山梅吉記念館より理事長退任・就任のお知らせが届いています。
 - * 11/17夜間例会の出欠
 - ※次年度役員候補者受付・指名委員会設置11/17立候補者締め切り11/24
- ⑥外部組織から
 - * 小さな親切No.524が届いています。
- ⑦米山記念奨学会から
- ⑧ロータリーの友事務所から

1709回 11月10日 wed
例会スナップショット 📷



スマイルボックス

西原 重夫
家内の誕生日ありがとうございます。
王先生卓話楽しみに聞かせていただきます。

富岡 正彦
家内の誕生日祝ありがとうございます。
大変喜んでおりました。

土屋 誠
10月8日が結婚記念日でした。ありがとうございます。
長らく休んですみませんでした。
家庭の理由であまり出席はできませんが
宜しく。

川瀬 一隆
気が付いたら31年目になっていました。

望月 義明
入会記念ありがとうございます。
1993年11月10日入会ですのでピッタリ！
入会28年になります！

鈴木 正明
王さんの今日の卓話楽しみにしてます。

大藤 幸司
おかげさまで51回目の結婚記念日を迎えられる
そうです。お祝いありがとうございます。

ロータリー米山記念奨学生 王 雪艶さんの卓話

ロータリー米山記念奨学生として、長泉RCにお世話になっています王(おう) 雪(せつ) 艶(えん)です。
在籍大学は 静岡英和学院大学の4年生、人間社会学部、経営学を専攻しています。
わたくしは中国の河南省から来ました。河南省は中国の南北の境界に位置し、中国の多くの文化の発祥の地であり、
人口は9402万人で、中国でも最も人口の多い3つの省の1つでもあります。河南省は、温暖なモンスーン気候で、高温で
雨の多い夏、寒くて雪がたくさん降る乾燥した冬、春と秋が暖かいなど四季がはっきりしています。河南省は平野に
位置し、農業が発達して食用作物が豊富です。河南省の耕作地面積は6871万ヘクタールで、中国で2番目にランク
されています。小麦の生産量は一貫して国全体の20%以上を占めており、国内で第1位にランクされています。文化的に
重要な観光名所もたくさんあり、河南省の洛陽は、中国の国花牡丹の発祥の地で、毎年4月に牡丹フェアが開催されます。
私が初めて日本に来た時、静岡岡市でお祭りを見ました、日本の芸者文化や、四季それぞれに魅力の溢れる日本は自然と
神様に感謝し、生きることを喜び、コミュニティを育てるために行ってきたのが日本のお祭り、これまでで記憶に残っ
ているのはきれいな花火を見たこと、お祭りに行くとき着物を着て、みんな礼儀正しくしていると感じました。また、
日本には美味しい食べものがいっぱいありますが、その中でも一番好きなのは坦々麺です、辛いですがすごく美味しいと
思います。今、私は大学で経営学と会計の知識を勉強しています。具体的には起業時に必要なSWOT分析、販路、資金、
予算計画などの理論と実践です。将来、経営の知識を勉強して中国で介護施設をつくって社会のお年寄りたちが幸せな
生活ができるように手伝っていきたいです。中国の社会では子供や一人暮らしのお年寄りたちがたくさんいます。
私の故郷にもたくさんいます。若者は大都市にお金を稼ぐために働きに行きます。彼らは年に一度だけ家に帰りますが、
普段は高齢者と子供たちが家に残っていますので生活の中で多くの問題に直面しています。子供たちは高齢者の介護が
できないし、子供たちの勉強などを高齢者たちは手伝うことができません。ですから将来、私は町に介護施設を建て、
ボランティア団体も設立して、子供たちが勉強することができる環境を整えるとともに、お年寄り達の生活不安からくる
ストレスの心のケアにも力を尽くし、みんなの人生が幸だと感じることができると考えています。
ロータリーの例会に参加して毎回みんなが優しくしてくれて、いろいろな文化に出会いとでも楽しみです。カウンセラー
の渡邊さんと餃子の食文化の違いを話して、餃子は中国人にとってお正月の時に主食として食べる大切なご飯で、一般的
に水餃子を食べます。日本では焼き餃子ももっとも多く、主食は別にあり餃子はおかずとして食べているのが中国と違う
ところです。今年はコロナの影響で交流の機会が少なくなっていますが、コロナが治まったら多くの活動に参加して皆
さんと交流し、もっと日本の文化を学びたいと思っています。米山記念奨学生になってコミュニケーション能力が向上
したことは自分自身にとって成長した点だと思っています。この1年間は私の今までの留学生活の中で、最も充実した1年間
になると思います。色々な人と密に接するチャンスが増え、コロナの影響を受けたけど、Zoomでの交流会も何回か行って
います。様々な分野の方々と交流を取ることができてとても楽しみです。また、奨学金のおかげで学習に専念でき、専門
知識の勉強に時間をかけることができます。とても感謝しています。私は、ロータリークラブが実践されている奉仕と
積極的な交流の大切さを学びました。交流は文化・国境を越え、様々な場面で行われています。これは、「理解」と
「平和」のもとに成り立っているのだと強く感じています。将来、機会があれば日本と中国との文化の交流会を行って、
それぞれの国の文化交流による懸け橋を作りたいと思っています。そのためにも将来鄭州でロータリークラブを設立し、
交流の場を広げていきたいと思っています。

